

# 令和5年度第54回千葉県中学校新人バスケットボール大会

## 女子準決勝 戦評

### 〔女子準決勝〕

		14 - 5		
		22 - 8		船橋市立
昭和学院中学校	55		33	行田中学校
		11 - 8		
(市川・浦安)		8 - 12		(船橋)

#### 【評】

両チームともオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。互いになかなか得点が奪えない立ち上がりであったが、昭和学院はパスカットからの#12宮川の速攻、行田はドライブから合わせた#6北野の3Pを皮切りに徐々に試合が動く。昭和学院はスクリーンアウトからリバウンドを抑え、#11薬師寺のゴール下シュート等で9点リードして第1Qを終える。第2Q、昭和学院は#7齊藤のドライブからのレイアップ、行田は#4細沼のターンからのフックシュートでスタートする。残り5分過ぎから昭和学院がディフェンスでプレッシャーを強め、相手のターンオーバーからの速攻で得点を重ねていく。対する行田も#7金井のフックシュート等で粘るが、36-13で前半を折り返す。

第3Q、行田は#6のドライブからのレイアップやキックアウトを中心にオフェンスを展開し、厳しいディフェンスを恐れずに対抗するが、対する昭和学院も#8と#6中野のハイローでゴール下の得点を確実に重ねていく。第4Qに入り、一進一退の攻防が続く中、残り4分を切った所から行田のオフェンスリバウンドが増え、#4のゴール下の得点等で差を縮める。しかし、終始連続得点を許さない厳しいディフェンスで試合を進めた昭和学院が決勝へと駒を進めた。敗れはしたものの、行田も1試合を通し粘り強い堅固なディフェンスで対抗し、最終日に相応しい緊張感のある試合となった。

### 〔女子準決勝〕

		5 - 21		
四街道市立		11 - 17		船橋市立
四街道北中学校	42		63	宮本中学校
		9 - 13		
(印旛)		17 - 12		(船橋)

#### 【評】

四街道北対宮本は両チームハーフコートマンツーマンでスタート。第1Q、四街道北の#6小澤のアウトサイドシュートで先制。宮本は#14松本のアウトサイドシュート、#6金子のドライブが立て続けに決まる。四街道北は#5岡崎の3Pで反撃するが、宮本は#14松本、#7賢木がリバウンドから得点を続け5-21と突き放す。第2Q、宮本は#5宇佐美の3P、#6のドライブで得点を重ねる。四街道北は#4和田のドライブ#5、#6が速攻からアウトサイドシュートを放つがゴールに結びつかない。対する宮本は#4小笠原を中心に堅い守りとリバウンドから得点を許さず、速攻で得点を重ね、16-38の宮本22点リードで前半を折り返した。

第3Q、四街道北はダブルチームやオールコートディフェンスでプレッシャーを強め、主導権を奪おうとするが、宮本は落ち着いてボールを回し、#9小島や#5が効果的に3Pを決め、流れを渡さない。第4Qに入り、四街道北は#12時田や#7小山田の3Pで点差を縮めるが、宮本がそのまま逃げ切り、最終スコア42-63で宮本が決勝進出を果たした。敗れはしたものの、最後まで粘り強く果敢に戦った四街道北の健闘も称えたい。

# 令和5年度第54回千葉県中学校新人バスケットボール大会

## 男子準決勝 戦評

### 〔男子準決勝〕

	16-9	
市原市立	15-16	八街市立
ちはら台南中学校	77	55
	27-12	八街中学校
(市原)	19-18	(印旛)

#### 【評】

ちはら台南はオールコート、八街はハーフコートのマンツーマンディフェンスからスタート。ちはら台南は#4永尾、#9鳥潟の1対1を中心に攻め、3Pも積極的に狙い、得点を重ねる。対する八街はボールをしっかり回しながらドライブを仕掛け、キックアウトから3Pを狙う展開。16-9で第2Qに入ると、ちはら台南がゴール下を攻め、#7平野の3連続得点が決まる。更に相手のターンオーバーを誘い、第2Q中盤まで2桁点差まで開く。外からのシュートがなかなか決まらず苦しい展開の八街だったが、#14山本のバスケットカウントで勢いを取り戻すと、#12松尾のミドルシュートやフリースローで追いすがり、31-25の6点差で前半を折り返す。

第3Qに入り、ちはら台南は#4の1対1から、3Pを含む連続7得点で差を広げるが、八街も#5鈴木や#12の3Pで食らいつく。しかし、ちはら台南#4のドライブや速攻が止まらず、21点まで差を広げる。第4Qに入り、八街は#12の3Pで勢いにのり、#4佐々木、#12の1対1を中心に粘り強く攻め続けるが、ちはら台南#7が1対1やリバウンドシュートで得点し、追従を許さない。77-55でちはら台南が決勝進出を決めた。ちはら台南が主導権を握る展開であったが、最後まで果敢に戦った八街の粘りも称えたい。

### 〔男子準決勝〕

	14-17	
銚子市立	24-11	佐倉市立
第一中学校	73	65
	7-15	上志津中学校
(東総)	8-10	(印旛)
	6-6	
	4-4	
	10-2	

#### 【評】

両チームともにハーフコートディフェンスでスタート。上志津は#18志賀を起点とする速攻からの連続得点でリードするが、銚子一も外からのシュートで応戦する。上志津#18が2P、3Pを立て続けに決めると、銚子一#10岡田が連続3Pを決め主導権を渡さない。第2Q、銚子一は堅いディフェンスから#5神原、#8小原の連続3Pから流れをつかみ、12点のリードを奪う。一方上志津は#18の2Pで食らいつくが、ファウルもあいまりリズムに乗れず、38-28の銚子一リードで前半を折り返す。

後半、上志津は#28吉野、#18の連続得点で3点差までつめるが、銚子一も#8の3Pで応戦し、一進一退の攻防が続く。第4Qに入ると、銚子一は#0衣幡のポストプレーを起点に攻めるが、上志津の粘り強いディフェンスで思うように得点が伸びない。その間に上志津が追いつき、延長戦へ突入する。延長戦に入ると、逆転に次ぐ逆転の展開になるが、残り8秒、上志津がリードしてのスローインで銚子一が激しいディフェンスからパスカットし、#8のレイアップで同点に追いつき再延長へ。勢いそのままに銚子一が#8を中心に得点を重ねリードするが、上志津がラスト#18のロング3Pを決め、再々延長へ突入する。再々延長へ入ると、銚子一#8の2P、3Pが連続で決まり、上志津も応戦したが、そのまま銚子一が73-65で勝利し、決勝進出を決めた。敗れはしたが、上志津の諦めずにボールを追う姿に、会場全体が拍手に包まれた。

# 令和5年度第54回千葉県中学校新人バスケットボール大会

## 決勝 戦評

### 〔女子決勝〕

		17-9		
		9-20		船橋市立
昭和学院中学校	48		44	宮本中学校
(市川・浦安)		10-9		(船橋)
		8-6		
		4-0		

### 【評】

女子決勝戦、昭和学院はオールコート、宮本はハーフコートのマンツーマンで、両チームとも激しいディフェンスから流れを掴もうとする。昭和学院は#7齊藤のドライブからのレイアップや#12宮川の3Pで着実に得点を重ねる。一方の宮本は#14松本の3Pに始まり、#4小笠原、#6金子を中心に試合を組み立て応戦する。第2Q、宮本は#4のスティールや#7賢木のリバウンドからの速攻で開始3分足らずで逆転に成功する。対する昭和学院は激しいディフェンスや#7のドライブインで流れを引き戻そうとするが、宮本#5宇佐美、#14の力強いレイアップで得点を重ねる。終盤に昭和学院#7のレイアップで点を重ね、前半を26-29の宮本リードで折り返す。

第3Q序盤、宮本は#4、#12青野の3Pが連続で決まりリードを広げるが、昭和学院は#11薬師寺のリバウンドや粘り強い堅実なプレーで落ち着いて試合を進め、自分たちのリズムで得点を重ねていく。宮本2点リードで迎えた第4Q、昭和学院はスクリーンプレーからの合わせや、#11、#6中野のシュートですぐさま同点に追いつく。宮本も#5のジャンプシュートで応戦し、その後一進一退の攻防が続くが、残り1分で昭和学院が#7のシュートで同点に追いつき、延長戦へ突入した。延長に入りお互い1歩も譲らないまま時間が過ぎ、残り1分、昭和学院が激しいディフェンスからマイボールにし、#8薬師寺のレイアップで遂にリード。追いつがる宮本から逃げ切り、昭和学院が苦しい試合をものにし、優勝を決めた。決勝戦にふさわしい熱戦に、会場中から拍手が送られた。

### 〔男子決勝〕

		22-22		
市原市立		19-13		銚子市立
ちはら台南中学校	71		63	第一中学校
(市原)		14-19		(東総)
		16-9		

### 【評】

男子決勝戦、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々、お互い素早い攻防の切り替えから乱打戦となる。銚子一#8小原がミドルシュート、#10岡田が3Pを決めると、ちはら台南は#7平野のミドルシュート、#4永尾のドライブで応戦。第1Qを22-22で終える。第2Qは、両チームゆっくりとした展開から始まる。ちはら台南は#7を中心に突き放しにかかるも、銚子一は#4江波戸、#5神原、#8が安定したミドルシュートで応戦する。前半はちはら台南が6点リードで折り返す。

第3Q、銚子一#8の勢いが止まらず、立て続けの得点で逆転に成功する。対するちはら台南も#7の3Pで流れを渡さない。両チーム1対1を中心に攻め、55-54ちはら台南1点リードで最終Qへ。第4Qに入り、お互い献身的なディフェンスが目立ち、簡単に流れを渡さない展開が続いたが、残り3分、ついにちはら台南が主導権を握り、#7のドライブからのレイアップ等で点差を広げ、71-63でちはら台南の初優勝で幕を閉じた。最後まで全力で攻防を繰り広げた両チームの健闘を称えたい。